

ご家族の皆様へ

新型コロナウイルス感染防止について情報のご提供とお願い

梅雨空が続いておりますが、ご家族皆様にはご健勝のことと存じ上げます。

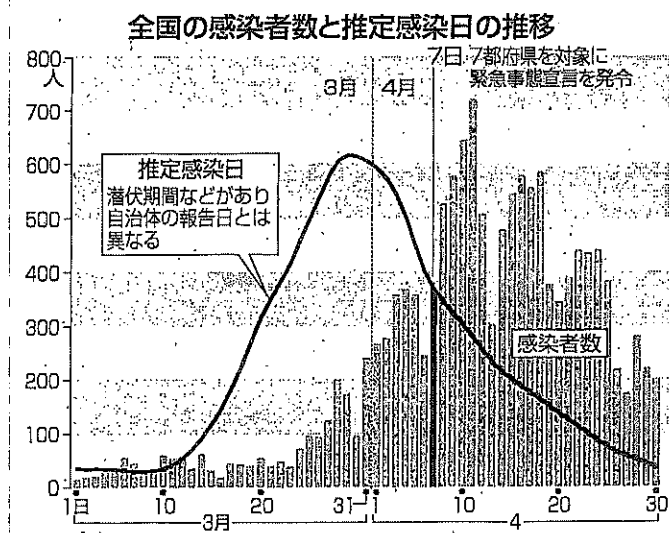
九州中南部地域では豪雨災害が発生し、介護施設が被災して多数の犠牲者が出ています。幸い介護サービスぬくもりは海拔22mにありますので、ご安心頂きたいと思っております。

この度の新型コロナウイルス感染防止につきましては多大のご協力を頂き、おかげさまで今のところぬくもり関係者から感染者は出ておりません。ご家族様には、何かにつけご心配やご不便をおかけしており大変申し分けなく思っております。

あらためて、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

さて最近、全国的には感染者数が低減する傾向にありますが、なお次のように大変気がかりになる情報があります。

- ① 最近共有されてきた情報として、人口が密集する東京などの大きな都市部において、感染拡大の第2波の恐れがぬぐい切れない。
感染者の拡大は地方へ飛び火する可能性が大きい。
- ② 新型コロナウイルス感染の第2波について「人から人にウイルスが受け継がれると、人で増えやすいウイルスが選ばれていき、病原性は高くなっている可能性がある」（世界保健機関 WHO 指定人獣共通感染症対策研究協力センター長；喜田宏北海道大学教授）。
- ③ 今年3月以降の全国感染者数と推定感染日の推移（下図；令和2年6月30日山口新聞；大阪府専門家会議資料）によると、感染者確認が増えつつある初期の段階で、すでに最大の感染が起こっている、つまり目に見えないところで最大の感染が起こっていることがうかがえます。



(裏へ)

④ 近隣県における感染者状況（7月1～9日までの新感染者数）

山口 36（ 0 ） 広島 167（ 2 ） 岡山 27（ 2 ）
島根 24（ 0 ） 鳥取 4（ 0 ） 福岡 895（ 45 ）
参考；東京 7272(1,047) データ：日経新聞

このデータから、山口県中北部から島根、鳥取の山陰地域にかけては、これまで感染者数が少なく、これまで感染拡大の傾向はみられません。しかし隣県の広島、福岡という人口が比較的多い地域では新たな感染がなお見られます。

すでに緊急事態宣言の解除や越県移動、特定業種の開業自粛も解除されておりますが、以上述べました情報や、またすでにお送させて頂いております「新型コロナウイルス感染防止対策についてのごお願い」などをご参考に、引き続き感染防止にご協力頂きますようお願い申し上げます。

特に8月のお盆シーズンや夏の諸行事のために、感染者が発生している地域との人的交流や濃厚接触には十分ご注意頂きたいと思っております。

今後とも私たちぬくもり職員は一層気を引き締め、治療薬やワクチンが今なお開発されていない新型コロナウイルスの感染防止のために、全力で取り組みたいと考えております。

ご協力賜われますようお願い申し上げます。

令和2年7月10日

地域密着型介護サービスぬくもり

施設長 津守佳津子

役員・職員一同